



「防火ネットニュース」「メールマガジン」の読者の皆様、また、全国の消防関係者の皆様、明けましておめでとうございます。

日頃から、当協会事業には格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

我が国の消防防災体制は60年余の間に着実な発展を遂げており、各般にわたり更なる充実強化が図られ、国民の安心・安全な生活を確保するという消防に課せられた使命の重要性を再認識しております。

さて、昨年は、新型インフルエンザの蔓延による感染者の多発、遊技場など複合施設からの火災による犠牲者をはじめ事件、事故などで多くの方の尊い人命が失われているニュースが報じられておりますが、改めて、防火、防災、安心安全な地域づくりの大切さを実感いたしております。

私ども日本防火協会は、婦人（女性）防火クラブをはじめ幼年消防クラブなど民間防火防災組織の育成、支援を重要な使命としており、更なる活動を推進していただくために、物心両面での支援内容を充実させ地域における自主防火防災組織の活性化や組織づくりを積極的に支援してまいります。

とりわけ、幼年消防クラブの活性化については、昨年ヨーロッパ青少年消防オリンピックに出場し多大な成果をあげておりますが、更なる活動充実のため推進委員会を設けて当面の方策を検討し、指導育成の強化を図っていくこととしております。

ご案内のように、住宅用火災警報器の設置義務付けの法設置期限が間近に迫り、当協会も皆様方ともども普及啓発に全力をあげて取り組んでおりますが、さらに住宅用火災警報器の設置促進のための財政支援措置を拡充するなど一層努力してまいります。

また、当協会では、平成15年10月から防火管理者の資格講習を全国的に行っておりますが、開催地、開催回数、受講者数が年々増加し、昨年は1年間に3万7千人を超える修了者を数えるまでになっております。

さらに、昨年は、3月から防災管理講習を開催し、10か月間で1万2千人を超える修了者を送り出すなど、これらの講習を受ける機会を広く提供して防火・防災管理者の育成に努め、防火・防災管理制度の円滑な推進による災害の未然防止に寄与しております。

このように講習事業が順調に推移しておりますことは、消防関係機関の皆様のご支援、ご協力の賜であり、また、防火・防災管理対象物における管理権原者の皆様の防火防災に対する熱意とご理解によるものと厚く御礼申し上げます。

本年におきましても、これらの事業を積極的に展開して、地域の安心安全が一層図られるよう精進してまいりますので、皆様方の一層のご支援と、ご協力をお願い申し上げます。

皆様方のご自愛をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



片山虎之助会長